



PRESS RELEASE

岡山大学記者クラブ加盟各社 御中

平成26年7月11日
岡山大学

極めて希少！鹿田遺跡 墓の中から烏帽子が出土！

概要：本学埋蔵文化財研究センターが鹿田キャンパスにおいて行っている鹿田遺跡第25次調査において、本日11日、鎌倉時代の墓1基で烏帽子（えぼし）を被った状態で人骨が出土しました（7月9日にプレスリリースした内容の続報です）。

人骨は木棺に納められており、棺の外側には中国製の青磁器2点、白磁器1点が副葬品として納められていました。なかでも、今回特に注目されるのは、人骨頭部に沿って黒漆塗りの烏帽子が完全な形で見つかったことです。烏帽子は、奈良時代以降の男子のかぶりもので、時代やかぶる人などによってさまざまな形（種類）が知られていますが、遺跡からの出土例は限られています。特に墓の中から人骨と一緒に出土した例は極めて希少です。

鹿田遺跡第25次発掘調査現地説明会

- 日時 平成26年7月12日(土) 10時～12時（小雨決行）
 ※雨天の場合、翌13日(日)14時～16時に順延
- 場所 岡山大学鹿田キャンパス 鹿田遺跡第25次発掘調査現場
 岡山市北区鹿田町2-5-1
- 問い合わせ先 岡山大学埋蔵文化財調査研究センター 086-251-7290
 鹿田遺跡発掘調査事務所 086-803-5053
- ※無料の駐車場はございませんので、公共の交通機関等をご利用ください。



<お問い合わせ先>
 岡山大学埋蔵文化財調査研究センター
 助教 岩崎 志保
 （電話番号） 086-251-7290
 （FAX番号） 086-251-7290

岡山大学大学院社会文化科学研究科（文）
 教授 久野 修義
 （電話番号） 086-251-7407



PRESS RELEASE



出土した烏帽子



烏帽子の出土位置：鎌倉時代終わり頃の墓(南から撮影)

本日出土したばかりで、他の出土例は精査できていませんが、烏帽子単体での出土が数例。墓から人骨にともなって出土した例は、少なくとも岡山県では初。全国的にみても希少です。